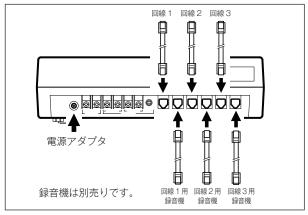
AT-D39SⅡ RB 取扱説明書

● 概要

本装置で応答しメッセージを流します。そのあと、先方の用件を録音します。
別売の録音装置とカードライトアダプタ CWA-100 が必要です。また、接続のための配線材料もご用意ください。
基本の操作は AT-D39SⅡの取扱説明書をご参照ください。

● 準備

別売の録音装置を本装置に接続します。接続する回線数と録音装置の能力により、録音装置が複数台数必要なことがあります。

◆お手持ちのパソコンに：

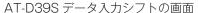
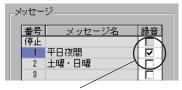
① アプリケーションソフト「AT-D39S データ入力ソフト」をインストールします。
② フラッシュメモリーカードにデータを書き込むための、別売「カードライトアダプタ CWA-100」を接続します。

STOP お願い

● 本装置と録音装置間で状態などを通信する機能はありません。録音装置に異常があっても本装置はそのまま運用を続けます。
録音容量の残量や録音モード忘れなどにご注意ください。

● 立ち上げ手順

1 パソコンで、プログラムを作成します。応答録音に使用するメッセージは、「応答録音用」に指定します。タイマーを使わない場合も、このソフトを使って、メッセージを「応答録音用」に指定します。

AT-D39S データ入力シフトの画面

メッセージ１の「平日夜間」は先方の用件を録音します。
メッセージ２の「土曜・日曜」は用件録音はしません。

詳細は、AT-S39S データ入力ソフトの取り扱い説明（ヘルプ）「用件録音（オプション）」をご参照ください。

2 カードライトアダプタに挿入してあるフラッシュメモリーカードに、プログラムを書き込みます。
3 書き込んだフラッシュメモリーカードを本装置に装着すると、プログラムが本装置にインストールされます。

● 日常の操作

・タイマーを使用するとき

本装置の操作は必要ありません。用件録音をする時間帯が終了したら、録音装置を再生モードにし内容をチェックします。再生が終了したら、次の録音に備えて録音装置の準備をしておきます。

・タイマーを使用しないとき

用件録音をする時刻になったら：
① 録音装置が録音状態になっていることを確認します。
② 本装置を応答モードにします。（本装置の取扱説明書 11 ページ）

用件録音をする時間帯が終了したら：
① 本装置の応答モードを終了します。（本装置の取扱説明書 11 ページ）
② 録音装置を再生モードにし内容をチェックします。再生が終了したら、次の録音に備えて録音装置の準備をしておきます。

録音装置の取り扱いの詳細は、録音装置の取扱説明書をご覧ください。

AT-D39SⅡ RB 取扱説明書

● 録音装置の接続方法例

ワンポイント

● 本装置と録音装置間は、6極4芯モジュラーコードで接続します。
モジュラーコードはお客様がご用意ください。

・「システム登録・回線」の設定で、「起動方式」を「外部制御」に変更します。

● VR-D175A

・機能登録の登録番号 16（外部起動入力）を「1：メークで起動」に設定します。
・機能設定スイッチ「SW-1」と「SW-2」を「ON」に変更します。
・機能設定スイッチ「SW-3/SW-4」を「OFF/ON」に変更します。

● VR-D170A/VR-D170AⅡ

・機能登録の登録番号 16（外部起動入力）を「0：メークで起動」に設定します。
・機能設定スイッチ「SW-1」と「SW-2」を「ON」に変更します。
・機能設定スイッチ「SW-3/SW-4」を「OFF/ON」に変更します。
・制御ボックスの切替スイッチを切り替えます。
VR-D170A ：制御ボックス内部の切替スイッチを（手前側）に切り替えます。
VR-D170AⅡ：制御ボックスの「外部／回線」切替スイッチを"外部"側に切り替えます。

ワンポイント

● 各録音装置の設定変更および機能設定スイッチの切り替えについては、それぞれの取扱説明書を参照してください。

ワンポイント

● 本装置は特別仕様品のため、電話回線の話中音を、相手が電話を切ったことを判定する信号として利用することができます。
関連する機能設定は右の2つです。変更するときは、販売店にご相談ください。
機能設定の変更方法は本装置の取扱説明書 17 ページをご参照ください。

関連機能登録：
・機能番号「20」
検出に必要な時間を決めます。
「0」にすると、この機能を使いません。
・機能番号「21」
検出する話中音の周波数を決めます。
通常は、「0＝（400Ｈｚ）」でお使いください。

機能番号	内容	値の意味・範囲	初期値
20	話中音検出の時間を決めます	0、1～3 （0＝検出しない、1＝100ﾐﾘ秒、 2＝200ﾐﾘ秒、3＝300ﾐﾘ秒）	1
21	検出する話中音の周波数を決めます	0、1 （0＝400Hz、1＝500Hz）	0

株式会社タカコム

P1E003100312R Mar. 2012